

# Leibniz ライプニッツ

数理科学科 27014677 杉阪 亮太

平成 27 年 1 月 7 日



## 1 ライプニッツについて

表 1: ライプニッツの経歴

年	出来事
1646年	ライプツィヒで生まれた
1661年	ライプツィヒ大学に入学
1676年	カレンベルク候ヨハン・フリードリヒによって顧問官兼図書館長に就任
1700年	ベルリン科学アカデミー院長に就任
1716年	ハノーファーにて没する

## 2 ライプニッツの記法

X や Y などの変数の微小な変化量を表す記号として  $dx, dy$  を用いるとライプニッツは提唱した。

さらに,

$$f'(x) = \frac{d(f(x))}{dx} \quad (1)$$

と表した。

## 3 ライプニッツの公式

ライプニッツの公式とは円周率の値を求めるための公式で下の数式で表せる。

$$e^x = 1 - \frac{1}{3} + \frac{1}{5} - \frac{1}{7} + \dots = \frac{\pi}{4} \quad (2)$$

## 4 まとめ

微分積分法をニュートンとは独立して発見・発明したもう一人の微積分学者である。

## 参考文献

wiki <http://ja.wikipedia.org/wiki/>  
<http://mathtrain.jp/leibniz>